

令和3年度 森林づくり推進支援金事業総括書（公表版）

実施

諏訪市農林課

No.	事業項目	事業名
	木を活かした力強い産業づくり	市単林道整備事業
事業費 2,200,000 円（うち支援金：1,387,000 円）		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

・諏訪市における森林面積は7,291haであり、カラマツを主体とした人工林の面積が約半数を占めている。林道扇平南峠線を含む西山地域は諏訪市の森林面積の半分以上を占め、間伐材の生産や特用林産物の生産が盛んな地域であるが、それらの生産活動を担う林道において、施設の老朽化が顕著であり、また近年ゲリラ豪雨等の影響による路面の洗掘や法面の崩落等が小規模ながらも度々発生しており、林道施設災害復旧事業の対象とならない林道整備が課題となっている。

(2) 本事業の目的

・林道施設の整備事業を実施し、今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくため林道機能の持続的発揮に資する。

事業内容

(1) 実施場所…林道扇平南峠線（中洲神宮寺）

(2) 対象者…諏訪市

(3) 実施方法…請負

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成30～令和4年度）

林道扇平南峠線…事業目標延長 L=25.0m（令和2～令和4年度）（改良工事L=25.0m）

②令和3年度実績

・扇平南峠線…施工延長 L=13.0m（改良工事L=13.0m）



事業効果

(1) 事業実施による効果

・林道の危険箇所が解消され、安全な通行が確保されることにより今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活性化が期待される。

(2) 継続性

・当該路線は、広く森林をカバーしているために多くの森林関係者が関与する場所であることから、大規模な通行規制が必要となる被害が発生する前に、適切な林道の整備を行うことで被災を最小限に留める及び被災しても早期の復旧が可能であることから、継続的な林業生産活動の確保が期待できる。

(3) 普及性

・地域における間伐材の生産促進や特用林産物の普及啓発を図ることができ、さらには森林整備等の意欲向上に繋がり、当該地域だけでなく森林所有者の整備事業促進へ寄与することが期待できる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

・林道機能の持続的発揮に資する林道施設の整備事業を実施したことにより、今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくための基盤づくりができました。

(2) 課題

・林道という性格上、特用林産物の生産期における施工は交通規制等の面で困難であることを考慮した工程の決定及び規制を計画する必要があります。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

・引き続き林道機能の持続的発揮のため、林道における未舗装の部分の早期完了や危険箇所の改修を実施し、森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくための基盤づくりへ取り組んでいきます。